



# 図書館だより



2023年4月号 NO. 401  
北茨城市立図書館  
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16



4月、新年度の始まりです。

学校を卒業してずいぶん経ちますが、今でも新学期のちょっと緊張した雰囲気は思い出します。

新しいクラス、新しい教科書、新しい先生。まわりの友達も変わって、少しドキドキするような気持ち。

自分もなんだか新しくなったような気がします。さて、どんな友達ができるかな？

先日、親の介護で帰郷している友達が遊びに来ました。小学校の1年生の時、机が前と後ろで仲良くなった同級生です。ただただ楽しくおしゃべりして帰っていきました。帰ってからもなんだか楽しくて、素直に嬉しい気分です。

学生時代の友達は、一瞬で当時に戻ることができるタイムカプセルのようなもの。子育てや親の介護、年を重ね、環境の変化で以前と変わったなあ、と思っても、実は何にも変わっていないということを感じさせてくれます。

さあ、まわりを見てみましょう。何十年後、楽しく会えるお友だちに出会っているかもしれませんよ！

by ビクトリア



## 《 図書館カレンダー 》

■ = 休館日です。

★ 開館時間：午前9時30分～午後6時 ★  
★ 2023年4月 ★ 5月 ★



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

★ 4月10日（月）～4月17日（月）は、図書館内システムの入れ替え作業のため、休館いたします。

期間中は下記の内容がご利用できません。予めご了承ください。

### 【ご利用できない内容】

- ・インターネットからの本の検索、予約、貸出の延長、利用の確認等。
- ・図書館のホームページの閲覧。
- ・電話での予約、所蔵の確認、調べ物の問い合わせ等。



ご理解とご協力をお願いいたします。

## ◇「1ミリの優しさ」◇

一般書 159ト IKKO／著 大和書房

「どんだけ〜!」と言って、お茶の間の私たちをいつも明るく笑顔にしてくれる IKKO さんが、60 歳になり人生の中で大切にされてきた考え方を、若いころの感覚に戻って、かわいいイラストとともに表現されています。

ここ数年で時代の流れが大きく変わり、今、人々に求められているのは『優しさ』ではないかと思うようになり、1ミリでも相手に寄り添い、愛を注ぐことが大切だと感じたそうです。その中のメッセージから少し紹介させていただきます。

「悩む時間はエネルギーを消耗してしまうから、今できることは何だろうと考えていく。」

「1日1ミリでも前に進めば大丈夫。少し後ろに下がってもまた1ミリ前に進めばいい。」

「毎日お花に水をあげるように自分を愛して。」

「困っている人を見た時、見て見ぬふりをしない。」

「今ある自分の幸せを、しっかりかみしめることが大事。」

「感謝は素直に気持ちを込めて伝える。」など、今すぐにもできることがたくさんあります。

ひとりひとりが思いやりの気持ちを持ち、1ミリの優しさを日々積み重ねていけば、優しさに満ちあふれた争いのない世の中になっていくのではないのでしょうか。老若男女問わず読んでいただきたいおすすめの本です。

by ライム

## 図書館員のひと言

図書館アップデート情報(4ページ)に写真があります!ぜひ見てください♪

先日、図書館のトイレに荷物置き台(杖かけ付)が完成しました。作成したのは、図書館サポーターの方です。一部材料を購入したのものもありますが、ほとんどが、図書館にあった廃材を利用し作成していただきました。職員もトイレを使用していますが、荷物を持って入ることが無かったので、気づかないアイテムでした。これで、ちょっとした荷物は置いてゆっくりご利用いただけるかと思えます。

図書館には「図書館サポーター」というボランティアの方が登録をして、無償で図書館の為に活動してくれています。

活動内容としては、おはなし会・新聞の切り抜き・本の修理・月ごとの館内装飾・環境整備・小学生の見学案内・行事などの補助等々さまざまな活動をしています。

「図書館サポーター」とは、平成28年3月に新図書館へ15万冊の本を引っ越すために、ボランティアを募集したことから始まりました。引っ越しが終わってからも、新図書館が開館するまで職員の手が回らないところをサポートしていただいて助けてもらいました。そこからのお付き合いで、現在も新しい方々も参加しながら活動が続いています。そんな、みなさんの姿から元気とパワーをもらっています。いつもありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします。

by チッピー



◇「深海学」◇

一般書 452ス ヘレン・スケールズ／著 林 裕美子／訳 築地書館

深海、人類最後のフロンティアと呼ばれ宇宙よりも未解明の部分が多いとされる。そんな深海の探査の歴史、どんどん見つかる新種と変な生き物、綺麗なだけじゃないマリンスノーの役割、なんだか深刻そうな開発に伴う深海の環境問題など深海に関する話が網羅的に書いてあるぞ。この本を読んでさらにこの変な世界の変な生き物を知りたいと思ったら、ミスウオとよばれる深海魚が打ち上がっているのを探してお腹の中を見てみよう。運がいいと本当に新種の生き物が見つかるぞ。ミスウオガチャのSSRだ。

by ヒトガタ

◇「DIVE!!」上・下◇

一般書 B913.6Y モリ 森 絵都／著 KADOKAWA



「少年はその一瞬を待っていた。」なんて峻烈な幕開け。

高さ10mの飛び込み台から時速60kmでダイブして、わずか1.4秒の空中演技の正確さと美しさを競う飛込競技。この物語は、弱小ダイビングクラブの存続危機をかけて、オリンピック出場を目指す3人の少年たちの、途方もない葛藤と、切磋琢磨の日々と、果てしない飛翔のおはなしである。

ストイックなスポーツ・エリートで、華も技も精神力も上等、大本命の天才少年、要一。幻のダイバーだった祖父から手ほどきを受け、津軽の海を相手にひたすら飛び込みをしていた原石、飛沫。一見凡庸で不器用な選手に見えるが、天賦の才「ダイヤモンドの瞳」を持つ未完の利器、知季。

瞬きほどの短い時間の中に、選んだもの、選ばなかったもの、超越したもの、背負込んだもの、振り切ったもの、掴み取ってきたもの、すべて、すべて、その肉体ひとつを武器に、彼らは挑む。

時を待つのに、じっとしている理由はない。一瞬は、積み重ねでできている。

by ミカゲ

◇「オハヨウどろぼう」◇

児童書 913オC おの りえん／文・絵 理論社



近ごろ、町を騒がしているのは「オハヨウどろぼう」。ぬすむのは「もの」ではなく「おはよう」という「ことば」。みどりの羽だけ残していき、誰も姿を見た人はいない…。ある朝、しんちゃんが「おはよう」をぬすまれて、おじいちゃんと一緒に取り返しに行きます。

さてさて、どろぼうの正体は…？ そして、「ことば」をぬすむ理由とは…。

しんちゃんが「おはよう」を取り返しに行く途中で、次々と登場する町の人たちが、とても愉快で楽しいおはなしです。



by アーキ

◇「おとなになれたら」◇

児童書 933コ ニキ・コーンウェル／作 渋谷 弘子／訳 牧野 鈴子／絵 文研出版

1990年代の後半、銃声が鳴り響くアフリカのコンゴ民主共和国で、テズのお父さんは殺されました。戦乱のコンゴで、おとなになること、長生きする事はむずかしいことでした。テズの家族は保護を求めてイギリスに逃げていきました。

イギリスは、言葉、洋服、天気、住居、教育事情等々、コンゴとは何もかも違いました。そんなイギリスで待ち受けていたテズたち家族の生活とは・・・

by フィナンシェ

◇「ぼくにはひみつがあります」◇

児童書 Eボク 羽仁 進／さく 堀内 誠一／え 主婦の友社



おはなしの主人公は『はらだ みきくん 5才』。ふとっているが、いがいとすばしっこい男の子です。みきくんにはだれにも言えないひみつがあります。ないしょでおしえてくれました。どんなひみつなんでしょう。

絵本の中から話かけられているような感覚になり、「それで？どうしたの？」と聞いてしまいそうなお話しです。5才ひみつ。とてもかわいいです。

by だらみ



## 『おはなし会』のお知らせ

🌸 図書館おはなし会 🌸  
4月5日(水)・19日(水)  
午前10時～10時30分

🌸 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🌸  
4月8日(土) 午前10時30分～11時

🌸 ぽっぽのおはなし会 🌸  
4月26日(水) 午前10時～11時

🌸 クーミンの英語のおはなし会 🌸  
4月30日(日) 午前11時～11時30分



すべて参加自由・無料です。  
場所は1階絵本コーナーです。



## ★図書館アップデート情報★

New!

☆図書館のトイレに荷物置きが設置されました！



木工が得意な図書館サポーターさんに  
トイレで荷物を置ける台を作っていただきました。  
温かみのある優しい色合いがとても素敵です♪



荷物やつえなどを  
置いていただけます。  
(お忘れ物にはご注意ください  
ください🙏)